

令和3年8月24日

西部農林水産振興センター 益田事務所 農業部

標 題

【水稲低コスト化技術】ドローン・リモコン草刈機の実演会を開催！

(ダイジェスト)

8月10日に西いわみ管内の水稲を主とする認定農業者、新規就農者および集落営農法人等を対象に、水稲低コスト化技術研修会を開催しました。

研修会では、ドローンによる農薬散布やリモコン草刈機による除草の実演を行い、そのスピードや作業性を間近で体感してもらうことで、水稲低コスト化技術を推進しました。

県では重点推進事項である「持続可能な米づくりの確立」において、米価の下落に対応するため、水稲低コスト化技術の導入を推進しています。中でも、近年急激に現場での導入が進んでいる技術が、ドローンおよびリモコン草刈機です。西いわみ管内でも、ドローンが19台、リモコン草刈機が5台導入されており、今年度から本格的な稼働が始まりました。

そこで、技術の更なる推進や導入定着を目的として、水稲低コスト化技術研修会を益田市隅村町の(農)丸山の郷を会場に開催しました。

研修会では、ドローンでの農薬散布およびリモコン草刈機での法面除草について、ポイントや注意点など実演を交えた説明を行い、低コスト化技術の一端を理解していただくことができました。特にドローンについては、研修会後のアンケートで回答者の半数以上が「今後導入したい」と回答し注目度が高いことが伺えました。

いずれの技術も導入コストやその後の維持コスト等が課題となることから、負担軽減に向け近隣の担い手との機械共同利用の仕組みづくりが重要となります。

今回の研修会開催にあたり協力していただいた(農)丸山の郷では、構成員が高齢化する中、水稲生産の省力化を目指しドローンを導入しました。法人内の防除作業の省力化を図りながら、今後は広域連携の枠組みを生かしたドローン防除の面的な広がり(作業受委託)を展開していく計画です。

今後も農業部では、研修会等による水稲低コスト化技術の更なる導入推進を図るとともに、技術の導入定着、ドローンの持続的な運用に向けた仕組みづくりを支援していきます。



写真1 ドローンによる農薬散布



写真2 リモコン草刈機による法面除草